

老人ホーム 木曾寮だより

第 72 号

年 2 回発行
木曾広域連合
養護老人ホーム
木 曾 寮
TEL 0264-52-2054
FAX 0264-52-2934
E-Mail kisoryou@kisoji.com

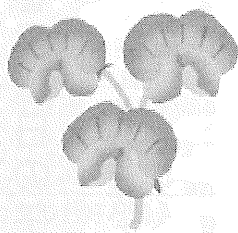
新しい生活

山本 春江

朝の陽ざしを感じながらカーテンを引き、お世話になる木曾寮の職員の方々のおかげに感謝して一日が始まります。

静かな木曾寮の場所も大変良い所で嬉しく思っています。

各部屋の皆さんとも気軽にお付き合いができて良い所に住まわせていただいたことありがとうございます、どうぞよろしく願います。



ゆっくりお雑煮を味わいます



中学生の福祉体験

『まんま坂』

現在木曾寮では、七十六名の利用者様が生活されています。年齢も六十六歳から最高齢の一〇二歳まで幅広い年齢層となっています。

木曾寮は要介護状態ではない元気な方が生活する養護老人ホームですが、年々車椅子で生活される方が増えてきています。

築三十年以上経過する古い建物を利用していますので、施設のいたるところに段差があり、廊下の一部には長さ約十七メートル、勾配七度の坂もあります。

この坂の先にはお風呂や食堂があるため、いつの頃からかこの坂を「まんま坂」と呼ぶようになり、木曾寮の中でも一番の難所となっています。

利用者の皆さんは毎日この坂を何度となく往復することになります。元気で歩行可能な方には足腰が鍛えられる生

活リハビリの場となっていますが、車椅子を利用する方にとっては関所のような存在で、ここから先は自分で坂を上することも下することも出来ない厄介な場所となっています。

そこで支援と事務のスタッフが協力して、車椅子の利用者十三名の「まんま坂」越えのお手伝いをしています。それはまるで、かつてのJR信越本線碓氷峠越えを思い起こさせる光景です。

今日も利用者様の車イスを押しながら、「安全第一」「なんだ坂」「こんな坂」「まんま坂」と心の中で呟いています。



諏訪大社を参拝しました